

戸田市国民健康保険運営協議会議事録

| | | | | | | |
|----------------------------|----------------------|-----------|--------|-------|-------|-------|
| 招集期日 | 令和 元年 5月 15日 (水) | | | | | |
| 場 所 | 市 役 所 7階 第5委員会室 | | | | | |
| 開 会 | 5月15日 | 午後 2 時00分 | 議 長 | 齊藤 恭平 | | |
| 閉 会 | 5月15日 | 午後 3 時00分 | 会 長 | 齊藤 恭平 | | |
| 会 長 | 齊藤 恭平 | | 副 会 長 | 榎本 潤一 | | |
| 委 員 出 席 状 況 | 俣田 康二 | ⊙ 欠 | 福田 恵理子 | 出 ⊙ 欠 | 川原 哲 | ⊙ 欠 |
| | 榎本 富佐江 | 出 ⊙ 欠 | 早船 直彦 | ⊙ 欠 | 梅田 浩 | 出 ⊙ 欠 |
| | 佐藤 寿宏 | 出 ⊙ 欠 | 染川 智行 | ⊙ 欠 | 駒崎 繁夫 | ⊙ 欠 |
| | 星 宏和 | ⊙ 欠 | 齊藤 恭平 | ⊙ 欠 | 榎本 潤一 | ⊙ 欠 |
| | 岸 和弘 | ⊙ 欠 | 原島 晴雄 | ⊙ 欠 | 垣田 真一 | 出 ⊙ 欠 |
| 説明員 | 久川福祉部長 矢ヶ崎福祉部次長 | | | | | |
| | 清水保険年金課長 | | | | | |
| | 尾里保険年金課主幹 小島保険年金課副主幹 | | | | | |
| 書 記 | 藤原保険年金課主任 渡部保険年金課主事補 | | | | | |

| 議 事 件 名 会 議 の 経 過 及 び 結 果 | |
|---|---|
| <p>審議案件 (1) 戸田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について (2) 平成30年度税率改正の効果影響の検証について</p> <p>その他 (1) 令和元年度戸田市国民健康保険運営協議会開催スケジュールについて</p> | |
| 事 務 局 | 司会及び開会のあいさつ、資料確認 |
| 会 長 | あいさつ |
| 事 務 局 | 委員変更報告(垣田 委員) |
| | 事務局職員変更報告、あいさつ(久川福祉部長、矢ヶ崎福祉部次長、清水保険年金課長) |
| | 出欠状況報告(15名中10名出席) |
| | ○戸田市国民健康保険に関する規則第4条第4項の規定に基づき会議に必要な定足数に足りているため会議が有効である旨を報告 |
| | ○戸田市国民健康保険に関する規則第4条第1項の規定に基づき会長が議長となる旨報告 |
| 会 長 | それでは、次第に基づきまして、進行いたします。 |
| | ○議事録署名人の指名(忰田 委員、駒崎 委員) |
| | 案件(1) 戸田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について事務局から説明をお願いします。 |
| 事 務 局 | 【案件(1) 資料に基づき説明を行う。】 |
| 会 長 | ありがとうございました。事務局からの説明内容につきまして、ご意見等ございますか。 |
| 委 員 | 国の制度改正を受け入れないという選択肢はあるのでしょうか。 |
| 事 務 局 | 市としては法律が変わり、それに対して、戸田市はどうするかということになりますので、この改正に対応して条例を改正しなければ、戸田市はやらないということになります。賦課限度額を高める事については、負担が高まるので、一年後に実施する予定になっております。今回の軽減拡充については、負担が減少するものなので、戸田市としてはいち早く行わせていただいたということになります。 |

| | |
|-------|--|
| 会 長 | <p>ありがとうございます。他にご意見等ございますか。特にご意見等なければ原案のとおり承認いただくことにご異議ございませんか。</p> |
| 委 員 | <p>(異議なし)</p> |
| 会 長 | <p>無いようですので、本案につきましては、原案のとおり承認とさせていただきます。</p> <p>続いて、(2)平成30年度税率改正の効果影響の検証について、事務局より説明をお願いいたします。</p> |
| 事 務 局 | <p>【案件(2)資料に基づき説明を行う。】</p> |
| 会 長 | <p>ありがとうございました。事務局からの説明内容につきまして、ご意見等ございますか。</p> |
| 会 長 | <p>収納率について、支払われていない方の国籍等の属性みたいなものは把握されているのでしょうか。</p> |
| 事 務 局 | <p>以前の運協で、収納推進課では属性の把握はしていないということでした。そうした中で、収納推進課で力をいれていることとしては、財産調査を行い、財産があるのに、支払わない方に対しては、法律に基づいて処分を行うこと、財産がない方に対しては、執行停止をしていくという対応を行っています。</p> <p>財産の観点で、滞納者の実情を調べた上、対応を分けていくという形で取り組んでいます。</p> |
| 会 長 | <p>この辺りですと、蕨市、川口市は外国人の方が多く、市役所の窓口にも外国人の方が来られることが多い様子が見受けられます。外国人の方は、お金を支払ってみんなで助け合うという皆保険というシステムになじめていないように思います。そのため、収納率の向上に向け、そのような属性を調べたほうが良いかと思われまます。</p> |
| 委 員 | <p>口座振替率とその収納率はどうなっているのでしょうか。また、県内でのくらいの位置になるのでしょうか。</p> |
| 事 務 局 | <p>口座振替の収納率は分かりませんが、口座振替率は、平成29年度の数字で戸田市は32.8%です。県内での順位は、今はありませんが、決して高い方ではありません。保険年金課では、口座振替を推進するように収納推進課と連携をしており、県からも口座振替を推進するよう言われています。</p> |
| 会 長 | <p>収納方法はどのような種類がありますか。</p> |
| 事 務 局 | <p>基本的には、納付は自主納付という形にしており、納付書により、金融機関、コンビニで支払っていただきます。それとは別に口座振替と職員によって直接徴収させていただく方法、年金天引きによる特別徴収があります。</p> |
| 委 員 | <p>法定外繰入金の一人当たりについて、下がってきていると説明がありましたが、それでも、県内では多い方から2位ということで、繰り入れが多いと</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>いう解釈でよろしいでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>本市の直近の数字を平成29年度の県内順位にあてはめると、繰り入れが多い方から2番目になります。補足になりますが、他市町村の平成29年度と、戸田市の平成31年度の当初予算との比較になっており、平成29年度の県内40市の数字で言いますと、平均13,700円台という数字がでております。その中で、戸田市は、かなり特出しており、今は、3万円代に下がってきてまして、平成29年度時点の数値との比較では、蕨市とふじみ野市の間で、二番目であり、蕨市、戸田市、ふじみ野市が3万円を超えているということになっております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>財政の安定化という観点からすると、滞納を少なくするということが一つあります。それから、支出もいかに削減できるかという二本立ての対策が必要だと思えます。また、医療にかからないための対策について、検討されている事とは思いますが、今回の検証の中に入っていないのでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今回は分かる数字の羅列的なところでしたので、医療費をどうしていくかということは、説明には入っていなかったのですが、医療費を抑えていくためには、一点目として、大きな病気にかからないということが大きくありますので、まずは特定検診であると考えております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>特定健診については、実際には、4割5分の方しか受けていない状況です。多くの方に受けていただき、早めに対応していただき、将来の大病を防いでもらうようにすることが必要であると思っております。</p> <p>併せて、ジェネリック医薬品の案内や、保健指導を提供していき、医療費の抑制や、医療にかからない健康状態にしていただくことも、取り組んでいかなければならないと思っております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>要因分析をしっかりとやらないといけないと思えます。また、いわゆるスポーツ理論で老いを少しでも遅らせていく方法など、色々な対策があると思えますので、そういったのも要因分析と併せてやっていかれたら良いと思えます。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>国の指導で各保険者はデータヘルス計画を作るように言われていまして、レセプトとかのデータを分析し、どういった疾病が多いのか検証を行っているところであります。その結果として、やはり生活習慣病が多いと思われれますが、生活習慣病に対して、決定的な対策というものがまだ見出されていなく、健康診断など、日々の地道な生活改善が大事だと思われれます。</p> |
| <p>委員</p> | <p>いわゆる寿命と、健康寿命というものがありますが、その比率は把握されていますでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>健康寿命については、色々な取り方がありますが、埼玉県が統一で出している健康寿命ですと、戸田市は、決して高いほうではありません。県内で最下位に近い状況であります。埼玉県では、65歳以上の方が、要介護2になるまでの期間を各市町村で計算していますが、県内で比べると、戸田市は最下位に近いところになっております。そういうこともあり、長寿介護課の方で、戸田元気体操、福祉保健センターの方で、健康マイレージで楽しみながら歩いたり、運動ができるような事業を、取り組んでおります。今年</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>会 長</p> | <p>度から、国保の方でも、健康マイレージを案内して、取り組むようにしています。健康寿命については、戸田市の大きな課題ということで、着目して取り組んでいるところであります。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>健康づくりの部分で、協会けんぽと健保組合の委員より、何か提案等がありますでしょうか。</p> <p>協会けんぽでは、まずは、健診について、3月下旬に、対象者の方である35～74歳の方に対して、案内を出しています。</p> <p>扶養者の方には特定健診という形で、4月～3月の通年で、20万人程の方に案内をしております。扶養者の特定健診は20%台と少しずつ上がってきていますが、なかなか伸びていません。お勤めしている方も40%台であり、受診率を上げていきたいと思っています。</p> <p>それに加えまして、健康経営というところで、そちらの方にも健康づくりが重要ということで進めているところでございます。一つの取り組み例として、健康経営の事業の中で、宣言をしていただくことで、宣言事業として行っております。その中で、一年間を通して、宣言をしていただいた事業者様に対しまして、協会の職員がフォローアップというところで、伺ってアドバイスをしたりして、取り組みを進めていく中で、一年後の取り組みの基準というものを設けており、基準に達したら、認定証という形で、宣言したところ、認定されたところは、ホームページで公表しているところです。</p> <p>また、県と連動している糖尿病重症化予防プログラムも進めています。持病がある方に対して、透析などにかからないように、プログラムに沿って予防を進めていく形でございます。</p> |
| <p>委 員</p> | <p>健保組合では、歯科検診が、糖尿病等の疾病や、内臓疾患に有効と言われています。ただ、歯科検診の補助等が出来れば良いのですが、なかなかそうはいかず、6月の歯と口の健康習慣の週に、被保険者に歯磨きセットを配布し、歯磨き習慣を身につけていただくようにしています。本当は歯科検診を推進するのが、有効だと思いますが、今のところはそれしかできていません。</p> <p>埼玉県で実施されているコバトン健康マイレージですが、健保組合も今年から参加しております。任意参加ですが、スマートフォンにアプリをダウンロードしていただいて、歩数計として利用していただくことを行っています。一定数マイレージが貯まると、県の農産物が抽選で当たって、自動的に送付されるものがあり、楽しみながら歩いていただいて、健康に繋ぐということで実施しております。</p> |
| <p>会 長</p> | <p>健康づくりとか、検診というのは、受けた人と受けていない人で差をつけるのが重要であると思っています。今、お話がありましたように、コバトンの健康マイレージはいわゆるインセンティブではありますが、それは、個人的には、続かないと思っています。アメリカ的な発想ではありますが、基本的にはやらなかった人へのペナルティを考えていかないといけないと思っております。日本もそのように変わっていくのではないかと考えています。そうしていかなければ、中々難しいと思われれます。</p> <p>埼玉県はコバトン健康マイレージを行っていますが、今、上手くいっているのは、大分県であり、県を挙げて、健康寿命日本一を作るとしています。</p> |

| | |
|-------------------|---|
| <p>委員 会長</p> | <p>歩得（アルトック）というもので、これも同じような、ウォーキングをして、マイルを貯めてというもので、地元の JA や JR 九州など、みんなが入って、いわゆるヘルスツーリズムとつながり、色々なことをやっています。これが成功しますと他の県も真似し始めるのではないかと思います。インセンティブだけでは、なかなか健康づくりや、健診の増加にはつながらないということが、現状だと思っています。</p> <p>また、医師会において医療費の削減について、何か取り組みをされていますか。</p> <p>ほとんどの薬が、ジェネリック医薬品になっているということが医療費の削減につながっていると思います。</p> <p>先日の国保関係の新聞を見ると、厚生労働省は、2040年あたりに向けて、AI と IOT を使って、医療福祉関係人員を140万人削減するような方針を打ち出しています。本当に削減できるかは分かりませんが、そこまで削減すると、人件費の部分で、医療費が下がってくるというのはあるかもしれないと思われます。</p> <p>現状としては、資料にあるように、収納率の増加等で対策するしかないと思われま</p> |
| <p>委員 会長</p> | <p>他に意見がなければ、原案のとおり承認させていただきますので、ご願います。</p> <p>（異議なし）</p> <p>無いようですので、本案につきましては、原案のとおり承認とさせていただきます。</p> |
| <p>事務局 会長</p> | <p>続きまして、その他として、事務局から何かありますか。</p> <p>【令和元年度戸田市国民健康保険運営協議会開催スケジュールについて説明を行う。】</p> |
| <p>事務局</p> | <p>ありがとうございました。事務局からの説明内容につきまして、ご意見等ございますか。</p> <p>ご意見等がなければ、以上をもちまして本日の審議案件は全て終了となります。議事進行の方を事務局にお返しします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>閉会のあいさつ</p> |